別紙１

令和４年度事業報告書

令和４年４月１日から令和５年３月３１日まで

特定非営利活動法人　麻生里山センター

1．事業の総括

●利用者　7000 人超（図１）

コロナ感染症の拡大がやわらいで利用が戻ってきた。緊急事態宣言が出た令和 2 年および令和 3 年度の利用者は、それぞれおよそ 4000 人および 5000 人。それが令和 4 年度は、7308 人と 7000 の大台に乗った。

目立ったのは、自然観察や野鳥撮影などを目的に訪れる一般利用が増えたこと。また、太陽生命の大規模活動や県外中学校などの教育旅行が再開されたことも利用者増の大きな理由。その他、京都市立芸大など新規の利用団体も増えた。

そして、特別なことが 2 つ。ボーイスカウトの大きなイベントであるスカウトジャンボリー（キャンプ大会）の会場となったことと、コロナで延期されていた全国植樹祭が滋賀県で開催され、その一般会場のひとつになったこと。合わせて 1100 人を超える利用があった。

大きな団体利用は森の利用者数を押し上げたが、数の少ない人員体制やトイレ設備など、受け入れの問題も浮上した。

●自主イベント　柔軟に実施

くつきの森を身近なものに感じてもらうことを目的に毎年、工夫をこらした日帰りイベントを実施している。令和 4 年度は 12 催事・21 回実施した。

専門の講師による「観察会」は、講師謝礼確保のこともあって参加費を以前の 3 倍に設定したが、熱心な参加者が多く、申込みが減ることはなかった。

内容がマンネリ化しないよう新規のイベントも企画した。親子ドローン教室、キノコをテーマにした観察会、スノーボードの原型「雪板」づくりなど、新しい講師を迎えて実施した。「シナノキの繊維取り」「やまのこ授業をもういちど」など、当初の計画にはなかったイベントも、職員に余裕が出来た時期を見て柔軟に実施した。

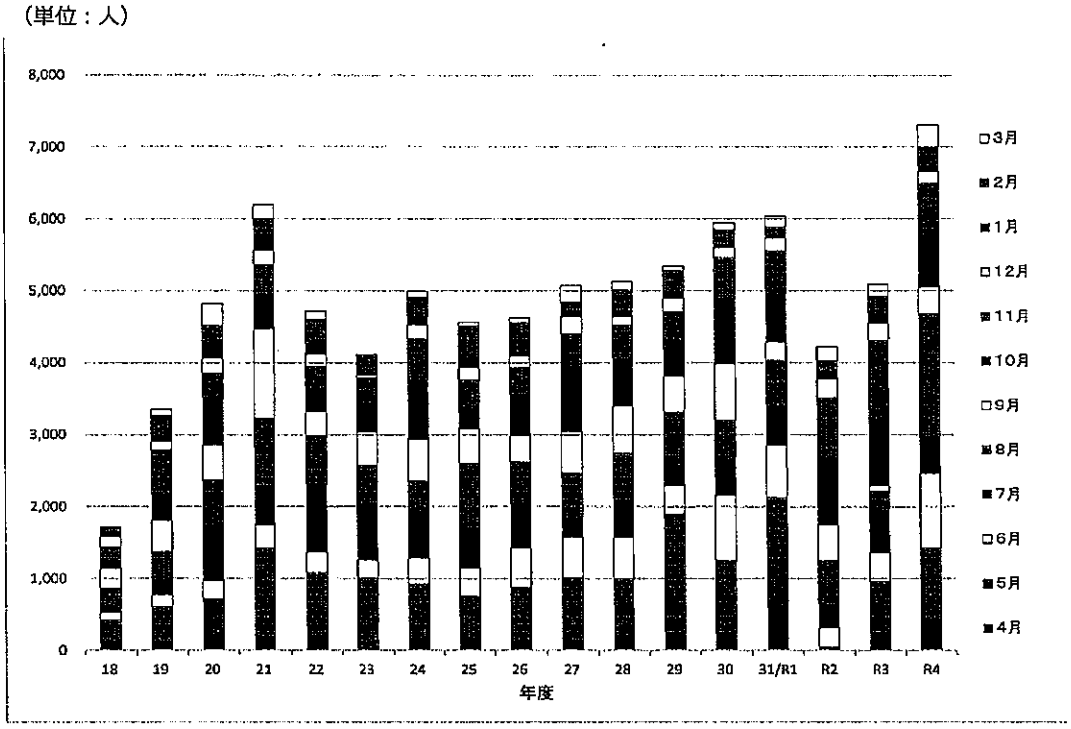


図1　利用者数の推移（平成 18 年度～令和 4 年度）

●建物・設備　不安をはらみながら稼働

建物・設備類は年々古くなり、雨漏りや突然の運転ストップなどの不安はつのるばかりだが、そうした中で、やまね館の照明がすべてLEDに変更され、明るく利用しやすくなった。一方、雨漏りが止まないロッジの建物は、頻繁に利用しているNPO法人アサヒキャンプの手で清掃などがおこなわれ、何とか持ちこたえている。森林環境研究所は、主にトイレや休憩場所として利用しているが、ファンヒーターの不具合などが起きている。雨漏りはまだ無いが、ロッジの二の舞にならないよう見守りたい。

7月、浄水場の濾過装置の電磁弁が漏電し、浄水設備が停電、ストップした。緊急に修理して復旧することが出来た。その他アチラ谷の取水施設、290人の大きな浄化槽、研究所の25人浄化槽、給湯設備などの主要設備は、おおむね順調に稼働した。

●遊歩道・森林・園地　主要部分を中心に景観管理

シカの食害で裸地化した斜面の表土流出、台風、雪害、復旧の遅れなどにより、遊歩道の劣化がすすんでいる。東山コースの一部など、道が失われたか所もある。そうした中、確実に歩くことが出来る道を確保するため、主要コースの点検、支障木の除去、草刈り、道標の修繕などをおこない、「歩ける道」「歩けない道」をマップに明記し、利用者に案内している。

森林についても、すべての場所を同じように管理することは出来ない。施設まわりや駐車場周辺、ユリノキ広場がある馬背地区など、利用者がよく訪れる部分を中心に管理をおこなった。管理のための人員が不足する中、毎週木曜日の「作業日」に来てくれる「里山ボランティア」の方たちの応援は、道の管理や園地の景観維持に大きな力となっている。

朽木支所から移管されたバックホーも、労力不足をおぎなって森林管理に役だっている。6月5日におこなわれた全国植樹祭のための地ごしらえにも力を発揮した。

森林管理のための補助金は2つ活用した。ひとつは長年つづけている林野庁の「森林山村多面的機能発揮対策交付金」。令和4年度は、南山地区の太陽生命の森林（もり）の一角を手入れした。もうひとつは、滋賀県の「やまの健康」森の恵み活用促進事業補助金。ユリノキコースがある馬背地区の森林の現況について調査し、管理の仕方について検討を加えることが出来た。調査の過程でシュンラン群生地が確認される成果があった。コース沿い樹木に樹名板を付けることも出来た。

●クアオルト事業　新しい展開

「高島市クアオルト健康ウオーキング」事業は、その運営体制などに課題を残していた。そうした中で、一般向けと企業向けの体験会を実施するとともに、兵庫県多可町の視察、滋賀県による企業向けモニターツアーなどを通して、令和5年度以降の運営体制についての見通しがつきつつある。センターが会計業務などをおこなう事務局となり、ガイドの1人が中心となって体験会などの実務を運営する体制をつくることになった。モニターツアー参加企業の中に、くつきの森との連携に大きな関心をもつ企業があったことも成果だった。

●やまのこ事業　市内14小学校を対象に実施

令和4年度の「森林環境学習やまのこ事業」は、高島市内14小学校の4年生341名を受け入れた。くつきの森での当日活動のほか、専任指導員が学校を訪れて事前・事後学習を実施した。朽木東小学校の1、2年生など、4年生以外の児童の受け入れもおこなった。またマキノ西小学校の4年生については、マキノ地区の林を使って「里山学習」プログラムを提供した。

2．受け入れ事業の実施状況

（1） 利用者の動向

利用者が 7 千人を超えた（表１）。ボーイスカウト滋賀連盟による５泊６日のキャンプ大会（スカウトジャンボリー）や全国植樹祭の受け入れがあったことが大きな理由。特別な年度だったとも言える。

●月別（表１）

【増加】<6 月>全国植樹祭<8 月>ボーイスカウト滋賀連盟のジャンボリー<9 月>やまのこ事業などの増<1～3 月>クアオルト、野外活動団体の雪遊び利用などの増。

【減少】<4 月>太陽生命の参加数が半分に<5 月>ユリノキ祭を止めたため。

●地域別（表２-1／表 2-2）

・滋賀県、京都府、大阪府の３府県の利用者が全体の 97%を占めた。

・滋賀県内から利用は、ジャンボリー利用を差し引いても確実に増加している。

・高島市内からの利用も増加傾向を示している。

・京都からの利用が大きく増えた。理由は不明だが、今後の傾向に注目したい。

●年代別（表 2-2）

・増加率は、大人・小中生・幼児各年代でほぼ同じだった。

●日帰／宿泊別（表 2-2）

・宿泊が大きく増加。ジャンボリーの宿泊利用があったことが大きな理由。

表 2-2 利用者数の類型（単位：人）

■滋賀県（高島市／その他）　（増減*は令和4年度／1年度比）

区分	令和1	令和2	令和3	令和4	増減*
高島	2,062	1,942	2,243	2,870	1.4
市外	802	754	1,319	2,027	2.5
合計	2,864	2,696	3,562	4,897	1.7

■年代　（増減*は令和4年度／1年度比）

区分	令和1	令和2	令和3	令和4	増減*
大人	3,830	2,731	3,272	4,680	1.2
小中生	1,528	851	1,015	1,851	1.2
幼児	684	642	806	777	1.1
合計	6,042	4,224	5,093	7,308	1.2

■日帰／宿泊　（増減*は令和4年度／1年度比）

区分	令和1	令和2	令和3	令和4	増減*
日帰	5,097	3,680	4,504	5,699	1.1
宿泊	945	544	589	1,609	1.7
合計	6,042	4,224	5,093	7,308	1.2

表 1 月別の利用者数（単位：人）

（増減は令和４年度／1年度比）

月	令和1年度	令和4年度	増減
4月	611	447	0.7
5月	1,513	986	0.7
6月	725	1,025	1.4
7月	543	513	0.9
8月	648	1,711	2.6
9月	242	369	1.5
10月	680	732	1.1
11月	597	714	1.2
12月	174	158	0.9
1月	52	79	1.5
2月	100	265	2.7
3月	157	309	2.0
合計	6,042	7,308	1.2

表 2-1 利用者数の類型（単位：人）

■地域　（増減*は令和4年度／1年度比）

地域	令和1	令和2	令和3	令和4	増減*
滋賀	2,864	2,696	3,562	4,897	1.7
京都	570	503	496	1,519	2.7
大阪	1,527	837	882	668	0.4
奈良	14	2	13	49	3.5
兵庫	17	48	59	22	1.3
三重	2	9	14	12	6.0
和歌山				3	
福井	13	17	10	37	2.8
石川				1	
富山	2		1	1	0.5
新潟		1			
山形				1	
岩手	2				
長野	6	50			
愛知	10	31	19	28	2.8
岐阜		7		8	
静岡	6			2	0.3
千葉		1		3	
埼玉				1	
茨城	1				
栃木			12		
東京	400	22	23	36	0.1
神奈川				8	
広島			2		
高知	2				
香川				4	
長崎				1	
鹿児島				2	
沖縄				5	
まつり	600				
不明	6				
合計	6,042	4,224	5,093	7,308	1.2

表３　利用団体等（単位：人）

利用者など		利用内容など	2022 人数		2021 人数	2020 人数	2019 人数
イベント		主催行事催事		277	317	254	831
一般（個人・グループ）		散策、自然観察など		**1,574**	1,546	1,018	1,130
やまのこ事業		市内 13 小学校４年生の受け入れなど		615	571	532	749
企業	太陽生命	森づくり活動など	122	145	80	44	418
	滋賀県環境保全協会	研修、作業	23				
保育園・こども園		里山あそび		**856**	614	657	614
子育て福祉	たかしまおさんぽ会	里山あそび	172	226	319	161	304
	朽木学童保育	野外活動	15				
	三田区子ども会	箸づくり	6				
	ボランティアサークル・プラネット	自閉症支援	16				
	滋賀県立盲学校		15				
	高島市社会福祉協議会		2				
小中高校	朽木中学校	森林体験学習	34	**387**	328	119	329
	朽木東小学校	森林体験学習	26				
	和邇小学校	木の工作	69				
	金蘭千里中学校	森林体験学習	195				
	京都・洛星中学校	森林学習	**63**				
野外活動団体	アサヒキャンプ	キャンプ	954	**2,234**	742	1,005	1,028
	吹田もくもくの里	森林体験活動	17				
	ボーイスカウト滋賀連盟	ジャンボリー6 泊	**1,045**				
	ボーイスカウト平安	雪あそび	44				
	森林セラピー	セラピーウオーク	66				
	GOOD TIMES	アウトドア・ツアー	39				
	キッズラボ	アウトドア・ツアー	35				
	ゼロ・グラビティ	アウトドア・ツアー	4				
	シニア自然大学	自然観察会	17				
	いまここ plus	モニター・ツアー	13				
地域諸団体	薪ネット	森林整備	44	**258**	189	78	54
	里山整備ボランティア	森林整備	62				
	結びと育ちの応援団	婚活	23				
	コミュニティねっとわーく高島	林業関連講座	30				
	朽木スキークラブ	交流会	24				
	朽木ダンスクラブ	中学生	39				
	その他（高島観光協会他）	下見など	36				
大学研究機関	琵琶湖環境科学研究センター	調査	2	**164**	76	27	123
	滋賀県立大（龍谷）	調査（卒論研究）	55				
	京都大学	実習	8				
	京都市立芸大	鯖街道実習	**50**				
	琵琶湖博物館	観察会	26				
	龍谷大学（上西）	調査等	23				
その他	取材	新聞社	3	**572**	311	329	462
	全国植樹祭	植樹参加など	**220**				
	行政関係	視察、打ち合わせなど	115				
	クアオルト	研修、体験会など	151				
	その他	修理業者など	83				
		年度合計	7,308		5,093	4,224	6,042

（2） 団体の利用

主な団体別の利用状況は表３のとおり。リピーター以外に、京都の洛星中や市立芸大など新規利用があり、利用者が多様化した年度だった。

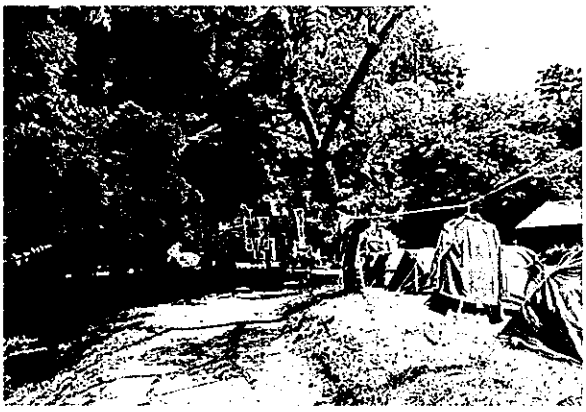
【増加した主な利用】

・一般（個人・グループ）
・市内の保育園・こども園
・野外活動団体…ジャンボリー。ツアーも増
・地域諸団体…利用団体が多様に
・大学関係…京都市立芸大が初利用

●保育園・子ども園　里山あそび

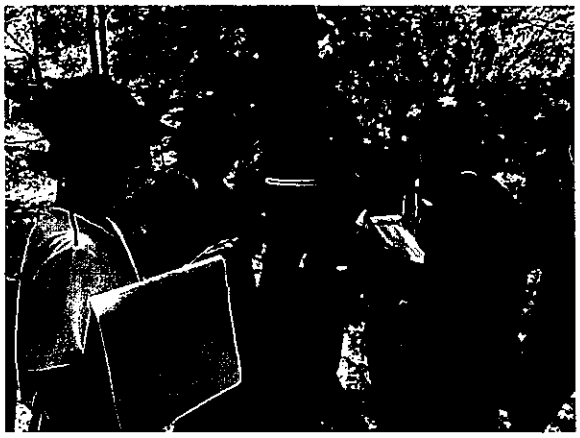
●金蘭千里中学校　森林体験(2年生173名)　5/19-20

●滋賀県環境保全協会　植樹祭地の草刈り　10/15



●ボーイスカウト滋賀連盟　ジャンボリー　8/5-11

●全国植樹祭　朽木中生徒らが植樹　6/5



●京都洛星中　林の調査（1年生45名）　6/30

●高島ロータリークラブ　クヌギ植樹　3/26

表４ 令和４年度の主催行事　　（単位：人）

催事名	実施日	内容	参加者	
春さんぽ	4/23（土）	▸春の花月間中のイベントとして森を案内（ユリノキコース）	7	
森の特別観察会	7/24（日）	▸水生生物・土壌動物。	20	
川のいきもの調べ	7/25（月）	▸水生生物（麻生川）。	15	
森の自然講座	4/30（土） 8/20（土） 10/22（土）	▸植物・野鳥➔中止（森さんぽに変更） ▸昆虫（　　先生） ▸きのこ　　先生）	- 14 19	33
森さんぽ	4/30（土） 11/19（土） 2/4（土）	▸アチラ山コース（森の自然講座の代わり） ▸カエデの森・搦谷コースなど ▸ユリノキ広場～めぐみの広場（スノーシュー）	14 7 17	38
かわいいお散歩会	6/12（日）	▸高島おさんぽ会との特別企画。年少さんから小学生まで５組参加して里山あそび。	15	
未来の森づくり	5/28（土） 6/25（土） 10/22（土） 11/26（土）	▸森林山村多面的機能発揮対策交付金（林野庁）助成事業４期目（３年間）の初年度。参加者を募り、南山地区の太陽生命協定林で実施。	11 12 8 12	43
はじめての親子でドローン教室	5/29（日） 8/28（日） 3/19（日）	▸講師はドローンインストラクターの　　さん。ユリノキ広場で実施。	8 10 13	31
森のいやし	5/21（土）	▸和みのヨーガ。講師は　　さん。ユリノキ広場で実施。	12	
里の手仕事	6/19（日） 12/11（日） 1/15（日）	▸ホタルかごづくり（麦わらを使用） ▸クリスマスリースづくり ▸ストロースターづくり➔中止（参加者不足）	15 21 -	36
雪板づくり	11/12（土）	▸スノーボードの原型「雪板」づくり。講師はGOODTIMESの　　さん。	3	
やまのこ学習をもう一度	3/19（日）	▸令和４年度の「やまのこ」に参加しした市内の４年生の希望者（家族）を募集して実施。	24	
合計	●実績／12 催事・21 回		277	

（３） 主催行事（自主イベント）

実績は表４のとおり（10 催事・19 回）。

中止は、参加者不足などによる２回。うち１回は内容を変更して実施した。

●森の特別観察会
（土壌生物）　7/24

令和４年度

主催行事　写真

●川の生きもの調べ
7/25

●森の自然講座（昆虫）　8/20

●森の自然講座（キノコ）　10/22

令和４年度

主催行事　写真

●森さんぽ（アチラ山）　4/30

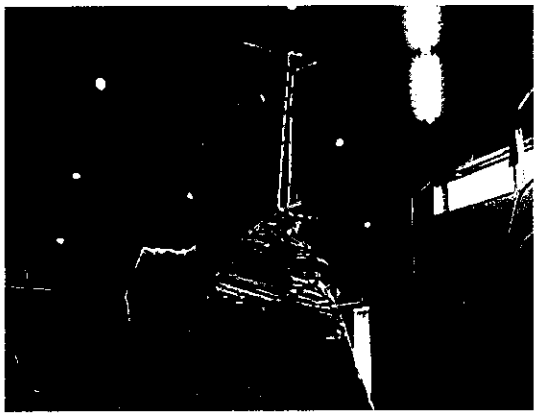
●森さんぽ（スノーシュー）　2/4

●森さんぽ（カエデの森）　11/19

●かわいいおさんぽ会（はやしばやし）　6/12

●森のいやし（和みのヨーガ）　5/21

●未来の森づくり　除伐作業　6/25



●里の手仕事（ホタルかご）6/19

●里の手仕事（クリスマスリース）　12/11

●ドローン教室　8/28

●ドローン教室　3/19

令和４年度

主催行事　写真

●雪板づくり　11/12

表 5 太陽生命関連事業

開催日	活動名	内容	備考
4/9	里山林づくり活動	遊歩道の掃除、どんぐりプロジェクト植樹地整備、森の入口整備、記念植樹（　　）など	太陽生命の森林で実施。大津・奈良・京都・京都南支社の社員および家族 80 名が参加
10/20	どんぐりプロジェクト（朽木東小 4・5 年生）	4年生はポット苗の植え替え。5年生は森林のはたらきについての学習	朽木東小学校で実施
10/21	どんぐりプロジェクト（朽木東小 3 年生）	どんぐり（クヌギ）のポット苗づくり	森林環境研究所およびくつきの森で実施
11/25	どんぐりプロジェクト（朽木東小 6 年生）	育てたクヌギ苗の植樹。保護者も参加	太陽生命くつきの森林で実施。セレモニーは朽木東小学校
11/26	森林整備作業	アカマツ林の低木類の除伐	太陽生命朽木の森林で未来の森づくりイベントに合流して実施

（4） 太陽生命との協定にもとづく活動

太陽生命との協定事業（琵琶湖高島森林づくりパートナー協定）は 16 年目（2007 年～）、「どんぐりプロジェクト」は 12 年目（2011 年～）になった（表 5）。

●里山林づくり活動　4/9

●どんぐりプロジェクト　3年生　10/21

●アカマツ林の整備　11/26

●どんぐりプロジェクト　4年生　10/20

●どんぐりプロジェクト　6年生　11/25

表 6 施設・機器類の修理など

項目	場所・機器類	状況など	対応
機器類修理	ホイルローダー	点検・メンテ	グリス注入、タイヤチェーンはずし等
	バックホーVio15	点検・修理（西坂農機）	点検・修理（西坂農機）
	軽トラック（旧）	リアガラス破損	修理（山下オート）
	軽トラック（新）	新規	購入（山下オート）
施設管理	やまね館中庭	舗装タイルの汚れ	洗浄作業
	やまね館屋根	瓦の破損、雨漏り	瓦の交換
	研究所・Wi-Fi 機器	使用不可に	設定の復旧（パソコン年輪）
	テントサイト防火用水	防火用水タンク老朽化	更新
	やまね館前市道	県道出口の車両衝突リスク	一時停止看板設置、白線表示
	北谷橋	流出	掛け替え、滑り止め
	作業棟倉庫屋外水道	水漏れ	修理
	重機格納庫	バックホー・ホイルローダー用	新設
	炭窯	旧炭窯の不具合	新設
市による修繕等	浄水場	浄水弁故障、漏電	浄水弁の交換（アクアトータルサービス）
	バックホーPC30	新規	朽木支所から移管 老朽部の修理など
	やまね館	照明設備	LED に交換

3．施設および森林の管理

（1） 施設・機器類の修理など

主に表 6 のような維持管理作業をおこなった。特記事項は以下のとおり。

●雨漏り（やまね館）

雪解け後、宿泊室廊下 2 か所で雨漏りがあった。原因は屋根瓦の破損。瓦を交換して修理した。

●照明が LED に（市）

やまね館の全照明が LED に。ホールや玄関の受付け付近などが明るくなり、利用環境が改善された。

●バックホーの移管（市）

朽木支所からバックホーの移管があった。グラップルアタッチメントを購入し、森林整備に活躍した。

●重機格納庫を建設

ホイルローダーなど 2 つの重機の格納庫をやまね館近くに新設した。

●軽ダンプの購入

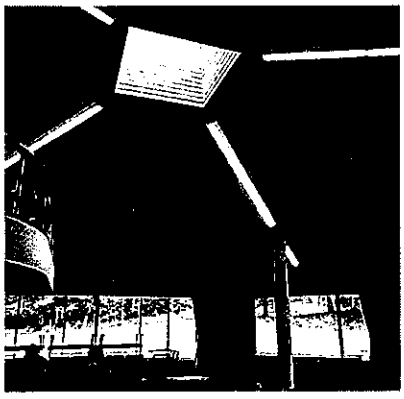
旧軽ダンプが老朽化。新規の軽ダンプを導入した。旧車両も使用を継続する。

●浄水場の停電（市）

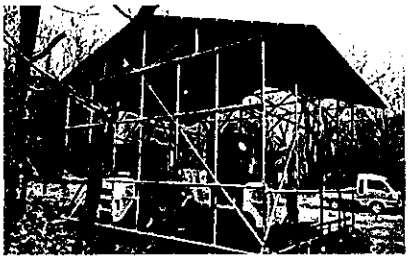
浄水弁が老朽化で漏電。緊急に修理した。

●炭窯の作り直しに着手

旧炭窯の空気もれが止まらなかったため、小さな炭窯をつくることに。基礎の石積みなど準備作業をおこなった。



●照明が LED に（やまね館）



●重機格納庫を建設

●炭窯　再挑戦

表７　定期的な管理

項目	内容	場所	備考
委託業務	建物警備	やまね館 森林環境研究所	セコム
	消防施設管理	やまね館森林環境研究所 ロッジ	セコム
	浄化槽管理	290 人槽 25 人槽（研究所）	日映興行
飲用水管理	次亜塩素酸ナトリウム 濃度管理	浄水場	定期的な濃度チェック 液の補充
	水質検査	やまね館蛇口の水	５月実施（高島市保健所）
その他	フロン管理	やまね館業務用冷蔵庫	月１回（目視）
		やまね館冷房装置 （稼働中止中）	
	食品衛生管理	厨房	提供食材のサンプル保管 定期的な清掃

（２）　定期的な管理

その他、水道施設、浄化槽、消防施設などについて、表７のような定期管理を行った。

なお、水質汚濁防止法等に基づき、滋賀県高島環境事務所の立入検査があった。その結果、用水使用量や排水量など、現在の利用実態に沿った届出の変更が必要となり、修正書類を提出した。また、厨房冷蔵庫のフロン管理（目視による異常観察）などを定期的におこなうことになり、記録を実施している。

（３）　森林の管理

●里山整備ボランティア

８月と冬期（１月～２月）を除く毎週木曜日を「作業日」とし、さまざまな森林管理作業を職員とともに行った（表８）。

令和４年度は計 27 回、延 59 人の参加があった。

●里山整備ボランティア　県道沿い整備　4/21

表８　里山整備ボランティアの実績

月日	人数	作業
4/7	3	ユリノキ広場整備
4/14	3	湿地園整備
4/21	6	県道沿い整備・やまのこ新道づくり
5/26	3	全国植樹祭準備（シカ柵）
6/2	3	全国植樹祭準備（シカ柵）
6/9	2	倒木処理
6/16	2	草刈り
6/23	2	薪づくり
7/7	2	苗木移植、草刈り、芝刈り
7/14	2	シナノキの皮むき（繊維取り）
7/21	3	草刈り
9/1	5	薪づくり、樹木園残材整理
9/8	1	モリアオガエルの池周遊コース整備
9/15	2	ヨコガケ地蔵周辺整備
9/22	1	水源の森除伐
9/29	1	オグラスコース草刈り
10/6	2	薪づくり
10/20	1	薪づくり
10/27	1	炭窯づくり
11/3	1	どんぐりプロジェクト植樹地整備
11/10	1	南山コース整備
11/17	1	炭窯づくり
11/24	1	薪づくり
12/1	3	薪づくり
12/8	4	炭窯づくり
3/23	2	ユリノキ広場整備
3/30	1	県道沿い枝垂れ桜周辺整備
27 回	59 人	

●林野庁「交付金」の活用

平成 25 年度から林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を受けて森林整備を実施している。今年度はその 4 期目（3 年間）の 1 年目。

対象森林は、南山地区の 3.4㌶。作業路を整備し、風倒木の整理、繁茂したアセビなどの除伐作業などをおこなった。多くは「未来の森づくり」イベントとして実施。

●林野庁「交付金」作業　6/25

●滋賀県「やまの健康」森の恵み活用促進事業補助金の活用

ユリノキコース周辺（馬背地区）の整備を進めるため、植生の現況調査と整備方針を検討して報告書を作成した。その他、コース沿いの樹名板設置、コースマップづくり、挿し木・播種、めぐみの広場に設置したシカ柵内の園地の整備と苗木移植などを行った。

●雪による被害　東山コース

●遊歩道・園地・その他訪問者の利用が多い場所

冬の大雪により、遊歩道沿いなどで倒木や幹折れ被害が発生した。支障木の除去・整理をおこなった。

その他、道標の補修、北谷橋の付け替え、からみ谷沿い林道の整備（落枝掃除など）、ユリノキコースの整備（雪害木処理、草刈り）などをおこなった。

また、馬背地区や県道沿い駐車場まわりなど、訪問者が頻繁に利用する場所を中心に、定期的な芝刈り、枯れ木や残材の処理など、景観や安全を考慮した整備作業をおこなった。

●雪害木の整理（中馬背樹木園）　4/14

●全国植樹祭の委託業務

滋賀県で 5 月 6 日、第 72 回全国植樹祭が開催された。くつきの森は、一般会場としてホトランドの一角、約 200 平方メートルを提供することになり、ススキの株起こし、シカ防護柵の設置、植栽目印（竹杭）の設置などの準備作業をおこなった（県委託業務）。

当日は、朽木地区の小中学生らがクヌギの苗を植樹した。

●滋賀県「やまの健康」補助金作業

●全国植樹祭の準備作業

●芝刈り（ユリノキ広場）

表９　高島市クアオルト健康ウオーキング　関連業務

月日	内容	参加	備考
●体験会／市主催			
4/16	体験会（一般対象）	９名	オグラスコース
5/14	体験会（一般対象）	５名	ユリノキコース
6/10	体験会（一般対象）	３名	ユリノキコース
6/24	体験会（朽木公民館講座参加者）	８名	ユリノキコース
7/1	体験会（一般対象）	４名	オグラスコース
7/25	体験会（富士電機）	10名	ユリノキコース
9/17	体験会（一般対象）	中止	
9/30	体験会（一般対象）	９名	オグラスコース
10/16	体験会（一般対象）	５名	オグラスコース
11/6	体験会（一般対象）	14名	ユリノキコース
12/4	体験会（一般対象）	５名	オグラスコース
●体験会／センター受け入れ			
4/9	体験会（太陽生命「里山林づくり活動」参加者を対象に実施）	44名	ユリノキコース
10/2	体験会（棚田サミット分科会参加者対象）	５名	ユリノキコース（　　）
10/8	体験会（太陽生命・京都南支社）	38名	ユリノキコース（
●モニターツアー			
12/3	モニターツアー（しがトコ）	11人	ユリノキコース（市主催）
1/11	モニターツアー（クアオルト研究所）	５名（大塚製薬・市社協・市健康推進課）	ユリノキコース
2/16	企業モニターツアー／【テーマ】森の中で企業のSDGsを考える	10名（小野薬品・カネカ・住友生命・大和ハウス・Doctor's Fitness・NEC）	運営：滋賀県・JTB
3/18	企業モニターツアー／【テーマ】健康経営を考える	20名（富士電機他）	運営：JTB・大塚製薬
●その他			
4/12	コース整備（雪害木など：オグラスコース）		センター職員作業
7/6	視察（兵庫県多可町）	９名	海老澤他
9/5	市と打ち合わせ		オンライン
9/29	コース整備（オグラスコース）		センター職員作業
10/1	コース整備（ユリノキコース）		センター職員作業
1/11	ガイド２年目研修		クアオルト研究所

●体験会　出発前の説明　5/14

●太陽生命京都南支社の体験会　10/8

4．高島市クアオルト健康ウオーキング事業

クアオルト関連の事業は表９のとおり。体験会のほか、企業向けモニターツアーや先進地視察などを実施しながら、高島市での実施体制づくりを模索した。

2月16日の企業向けモニターツアーは、「やまの健康」推進プロジェクトの一環で滋賀県・JTBが実施したもの。複数の企業関係者がクアオルト健康ウオーキングを体験し、くつきの森のような森林施設とどんな関わりが持てるかなどについて話し合った。参加企業のうち１社（小野薬品）がくつきの森に関心を持ち、次年度以降も検討を継続してくれることになった。

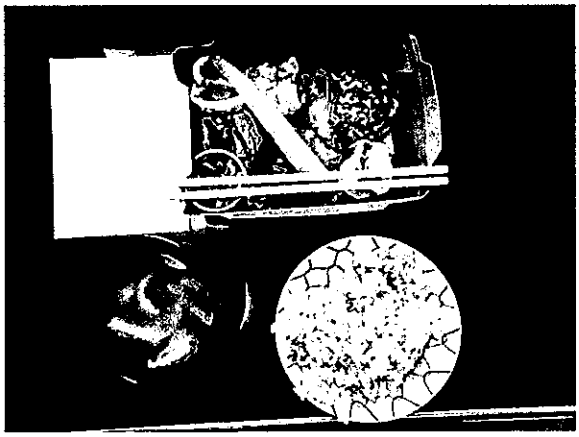
次年度からのクアオルト事業については、ガイドの　　さんを中心にした体制で実施することになった。広報、企画、他のガイドの日程調整や準備などの重要な部分を　　が担い、センターは会計業務などの役割を分担する。

次年度は、一定の料金体系のなか、有料で市民向け、団体・企業向けの体験会を実施することになる。問題が出れば、　　、センター、市、関係ガイドのみなさんらと話し合い、高島市のクアオルト健康ウオーキング事業が軌道に乗るよう、努力していきたい。

5．広報・情報発信

ホームページ、フェイスブック、ブログ、インスタグラムを活用し、野鳥や花など森の季節情報、イベント情報などを発信した。参加者の募集では、新聞や広報たかしま、市の防災無線などを活用した。

ニュースレターは２回発行。NPOの活動報告、フィールドについての情報などを発信した。



●モニターツアーと提供した昼食　3/18

●体験会　オグラスコース　4/16

●コース整備　オグラスコース　9/29

６．課題など

３年後の令和８年（2026）、センターは設立20周年を迎える。くつきの森の実質的な20周年でもある。

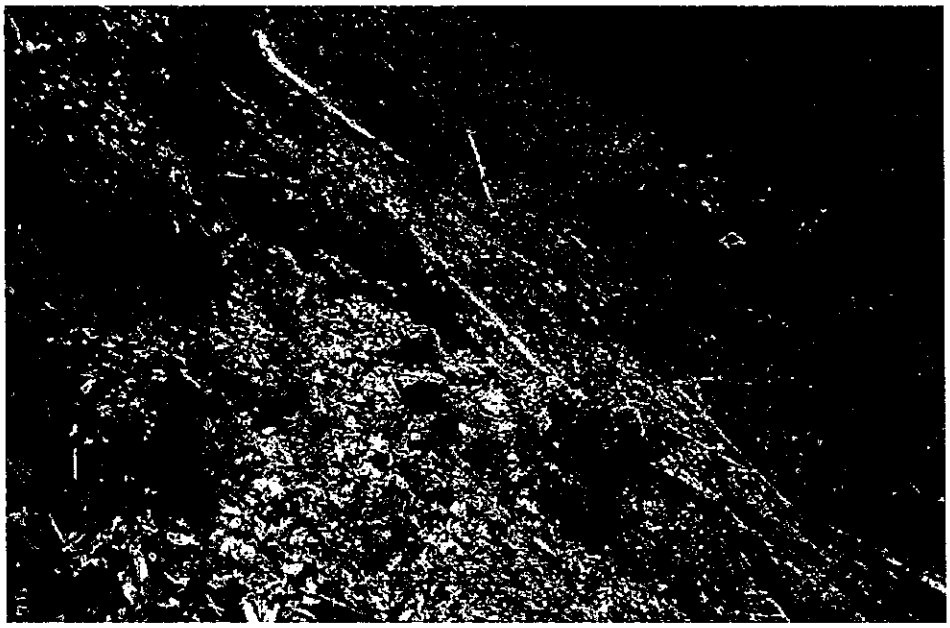
同時に、高島市との５年間の指定管理協定の更新が課題になる。令和８年以降、センターはくつきの森にどうかかわるのか、これまでのような体制でやっていけるのか、何か新しいやり方はあるのか――。くつきの森にとってターニングポイントの時がやってくる。

あと３年。あまり時間はない。

老朽化が進む建物や設備などの「モノ」だけをとっても、くつきの森の将来を考える上での課題は多い。日々いっしょうけんめい考えながら、自然と人の橋渡し役を担っている森のスタッフたちが、より安心して働ける安定した「原資」の確保も課題だ。人手がなくて管理の手が回らず通れないままになっている上流部の遊歩道が気になるし、あちこち面倒をみていきた林や場所もある。将来も、小さな子どもたちが森を駆ける姿を見続けたいと思うけれど、それにはどうしたらよいのだろう。

センターは平成18年（2006年）の設立以来、くつきの森が荒れてしまわないよう、また将来、くつきの森が高島市にとって誇ることのできる「緑の財産」となるよう、市や多くの関係者と協力して森の運営を続けてきた。そんな人と森との時間を止めることなく、新しい「くつきの森時代」が築けたらと思っている。

そのためには、所有者である高島市の考えも大切だし、利用し応援をしてくれている多くの関係者の方たちの思いや願いもある。次年度を、「人よし」「自然よし」「未来よし」となるよう、くつきの森の将来についてアイディアを出し合う１年としたい。



●崩れた東山コース（マメヤ谷）　遊歩道の維持は課題のひとつ

別紙 2-1

令和4年度 活動計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

特定非営利活動法人 麻生里山センター

(単位:円)

科目		特定非営利活動に係る事業
Ⅰ経常収益		
1. 会費		140,000
正会員会費		134,000
賛助会員会費		0
入会金		6,000
2. 寄付金		10,153
寄付金		8,980
募金収入		1,173
3. 助成金等		19,646,260
助成金		1,114,660
指定管理料又は委託料		18,531,600
4. 事業収益		9,152,252
自然環境維持管理費		787,900
施設利用料		2,072,550
参加料		288,900
ガイド料		96,000
販売収益		376,300
事業収益		5,530,602
5. その他の収益		8,685
受取利息		85
受取手数料		8,600
経常収益計		28,957,350
Ⅱ経常費用		0
1. 事業費		8,554,785
(1)人件費		1,688,500
給料手当		1,688,500
法定福利費		0
福利厚生費		0
(2)その他経費		6,866,285
事業費		5,590,875
事業消耗品費		1,023,342
保険料		121,001
雑費		131,067
2. 管理費		20,189,471
(1)人件費		10,535,090
給料手当		9,081,800
法定福利費		1,433,331
福利厚生費		19,959
(2)その他経費		9,654,381
業務委託費		2,163,150
印刷製本費		30,000
新聞図書費		18,852
旅費交通費		210,550
車両燃料費		128,689
通信費		323,942
事務消耗品費		342,898
備品消耗品費		161,722
修繕費		711,775
水道光熱費		1,694,541
燃料費(灯油)		159,540
リース料		242,504
減価償却費		281,599
保険料		308,850
諸会費		39,000
租税公課		1,431,319
研修費		84,650
支払手数料		78,800
事務委託費		1,242,000
慶弔費		0
経常費用計		28,744,256
当期経常増減額		213,094
Ⅲ経常外収益		0
繰入金収入		2,000,000
固定資産売却益		0
過年度損益修正益		0
経常外収益計		2,000,000
Ⅳ経常外費用		0
繰入金支出		2,000,000
固定資産除・売却損		1,958,000
過年度損益修正損		0
経常外費用計		3,958,000
経理区分振替額		0
当期正味財産増減額		213,094
前期繰越正味財産額		7,493,676
次期繰越正味財産額		7,706,770

別紙 2-2

令和4年度 その他の事業 活動計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

特定非営利活動法人 麻生里山センター　　(単位:円)

科　目	金　額
Ⅰ経常収益	
1. 会費	0
正会員会費	
賛助会員会費	
入会金	
2. 寄付金	0
寄付金	
3. 助成金等	0
助成金	
受取補助金	
指定管理料又は委託料	
4. 事業収益	0
自然環境維持管理費	
施設利用料	
参加料	
ガイド料	
販売収益	
事業収益	
5. その他の収益	0
受取利息	
受取手数料	
雑収益	
経常収益計	0
Ⅱ経常費用	
1. 事業費	0
事業費	
広告宣伝費	
消耗品費	
修繕費	
保険料	
雑費	
2. 管理費	0
(1)人件費	0
給料手当	
法定福利費	
福利厚生費	
(2)その他経費	0
業務委託費	
諸謝金	
印刷製本費	
新聞図書費	
旅費交通費	
車両費	
通信運搬費	
消耗品費	
修繕費	
水道光熱費	
賃借料	
減価償却費	
保険料	
諸会費	
租税公課	
研修費	
支払手数料	
経常費用計	0
当期経常増減額	0
Ⅲ経常外収益	
固定資産売却益	
過年度損益修正益	
経常外収益計	0
Ⅳ経常外費用	
固定資産除・売却損	
過年度損益修正損	
経常外費用計	0
税引前当期正味財産増減額	0
法人税、住民税及び事業税	0
当期正味財産増減額	0
前期繰越正味財産額	0
次期繰越正味財産額	0

別紙３－１

令和4年度　特定非営利活動に係る貸借対照表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人　麻生里山センター　　（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	83,655		
麻生里山センター	(44,437)		
やまのこ事業	(39,218)		
普通預金（JAレーク滋賀）	6,390,541		
麻生里山センター（　　）	(4,023,088)		
森林・山村多面的機能発揮対策交付金口座（　　）	(0)		
クアオルト健康ウオーキング事業（　　）	(39,000)		
やまのこ事業　（　　）	(2,321,218)		
ゆうちょ銀行　振替口座	(7,235)		
現金・預金計	6,474,196		
（売上債権）　未　収　金	1,128,452		
（その他流動資産）			
その他流動資産計	1,128,452		
流動資産合計		7,602,648	
2　固定資産			
(1) 有形固定資産			
計器備品　薪ストーブ	1		
計器備品　電動ろくろ	1		
機械及び装置　油圧チルトフォーク	264,734		
車両運搬具　軽四トラック	1		
車両運搬具　軽四トラックダイハツハイゼット	1,411,667		
(2) 投資その他資産			
保証金　軽トラリサイクル料	7,010		
有形固定資産計	1,683,414		
固定資産合計		1,683,414	
資産合計			9,286,062
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
仮受消費税	47,563		
未払金　ラズベリー苗木他	85,119		
前受金　太陽生命保険協定金	800,000		
前受金　令和5年度分年会費入会金	3,000		
預り金　社会保険料および源泉所得税	643,610		
流動負債合計	1,579,292		
負債合計		1,579,292	1,579,292
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		7,498,676	
当期正味財産増減額		213,094	
正味財産合計			7,706,770
負債及び正味財産合計			9,286,062

別紙３－２

令和4年度　その他の事業　貸借対照表

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人　麻生里山センター　（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
流動資産合計		0	
2　固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
流動負債合計		0	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

別紙４－１

令和4年度　特定非営利活動に係る財産目録

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人　麻生里山センター　　（単位：円）

勘定科目・摘要	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金　　手許現金有高	83,655		
麻生里山センター	(44,437)		
やまのこ事業	(39,218)		
普通預金　JAレーク滋賀　安曇川支店	6,390,541		
麻生里山センター(　　)	(4,023,088)		
森林・山村多面的機能発揮対策交付金口座	(0)		
クアオルト健康ウオーキング事業(　　)	(39,000)		
やまのこ事業(　　)	(2,321,218)		
普通預金　ゆうちょ銀行　振替口座	(7,235)		
現金・預金計	6,474,196		
（売上債権）未収金市　事業収入、県　助成	1,128,452		
（その他流動資産）			
その他流動資産計	1,128,452		
流動資産合計		7,602,648	
2　固定資産			
（有形固定資産）			
計器備品　　電動ロクロ	1		
計器備品　　薪ストーブ	1		
機械及び装置　油圧チルトフォーク	264,734		
車両運搬具　軽四トラックスズキキャリー	1		
車両運搬具　軽四トラックダイハツハイゼッ	1,411,667		
（投資その他資産）			
保証金　　軽トラリサイクル料	7,010		
固定資産合計		1,683,414	
資産合計			9,286,062
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
仮受金　　令和5年度分年会費	3,000		
仮受消費税	47,563		
前受金　太陽生命保険協定金	800,000		
未払金　　ラズベリー苗木他	85,119		
預り金　社会保険料と源泉所得税	643,610		
流動負債合計		1,579,292	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,579,292
正味財産			7,706,770

別紙４－２

令和4年度　その他の事業　財産目録

令和5年3月31日現在

特定非営利活動法人　麻生里山センター　（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
流動資産合計		0	
2　固定資産			
(1)　有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2)　無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3)　投資その他の資産			
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			0
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
流動負債合計		0	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			0